

1. 件名：「川内原子力発電所 1, 2号炉の地震等に係る新基準適合性審査
（標準応答スペクトルの規制への取り入れに係る変更）に関する事
業者ヒアリング（28）」

2. 日時：令和5年10月18日（水） 10時05分～11時45分

3. 場所：原子力規制庁9階耐震会議室

4. 出席者

原子力規制庁：名倉安全規制調整官、佐口上席安全審査官、谷主任安全審
査官、鈴木安全審査専門職、井清係員、松末技術参与

九州電力株式会社：テクニカルソリューション統括本部 土木建築本部
執行役員 赤司副本部長 他8名

（このうち2名はテレビ会議システムによる出席）

5. 自動文字起こし結果

別紙のとおり

※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

6. 提出資料

<<本年10月11日に受取済み>>

・川内原子力発電所1号炉及び2号炉 標準応答スペクトルを考慮した地
震動評価について（補足説明資料）

<<本年9月20日に受取済み>>

・川内原子力発電所1号炉及び2号炉 標準応答スペクトルを考慮した地
震動評価について

時間	自動文字起こし結果
0:00:03	はい、規制庁地震津波審査部門のスズキですそれでは時間になりましたので仙台現象カセ1号2号、標準応答スペクトルを、
0:00:12	考慮した地震と、これを踏まえたまた、地震動のまとめ資料ですかね。
0:00:18	これ前回会合からの付け加えた部分なんかの御説明、これはTTS041ですか。
0:00:25	それを踏まえた少し補正のイメージということで補足資料と、
0:00:30	載せておりますので本日はこちらの内容について確認をします。
0:00:34	ちょっと冒頭で確認をしたいんですけども、
0:00:39	今日1000台ということで、限界は次の、また次の説明の機会に伺いますけど、今回の申請の標準応答スペクトルなんでいわゆるテンロクでいうと地震の部分はいじるわけですけど、
0:00:51	基準ガイドの改正によって、いわゆる特定せずなのを全国共通とか地域性を考慮したみたいな適正化のですね、パネル部分とか、Ss3を追加しました。
0:01:04	それによって地盤斜面の評価をしましたっていうホンチャンの申請内容の部分と、少しこの間は先週の会合でもあった地形変更の話だったり、或いは少し地質構造これは敷地内、敷地外もかな、
0:01:18	へん判例がんとかね判例これ去年多分会合で適正するってご説明いただいた部分とか、
0:01:23	ちょっとそういう全体像ですね、どの部分は今回の申請で手を加えるのか加えないのかっていうのを、ちょっと全体像をですねまずお話を伺いたいんですけども、ちょっと紙は、
0:01:36	ないんですけど、ちょっとそこをまず伺いますちょっと今後どういうものが川内で、補正のところにですね、確認が必要なのかちゅうところですね、まず考えさせてください。
0:01:51	はい。九州電力の今林です。今お話がございました今後の補正に対して当社がどういった箇所、どういった内容について補正するかということですけども、
0:02:05	申請書の項目の順番にちょっとお話をさせていただけたらと思います。まず7、7ポツと3の地盤です。こちらは標準応答スペクトル。
0:02:16	の申請とは、直接ちょっとリンクするものではない。当初申請では入れていなかったものになりますけれども、本件の審査におきまして受けましたコメントを反映する予定にしています。具体的には、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:02:29	先ほど糸井挙げていただきました中にもありましたけども、地質図の地質層序の伴地質図の判例。
0:02:38	この中にあの辺凡例がんの記載がございますけどもこれについて適正化するよう、コメントを受けておりましたのでそれを反映する予定が1点。
0:02:47	それと2点目が、地形変更、
0:02:51	のに伴いまして、この地盤の中でも、地形の情報を入れてる図面がございますのでこれを更新し、いたします。
0:03:00	それと3点目が、
0:03:03	岩盤分類図の凡例につきまして先日者、先週コメントございましたけども、
0:03:08	これが3ポツの地盤の中にも岩盤分類図が入っておりますのでこの凡例についても、更新をすると。
0:03:18	いう大きくその3点を、7ポツ3の地盤では、補正に反映するように考えております。
0:03:25	7ポツ5の地震につきましては、これは本日、ご説明させていただきますので詳細はちょっとそちらでご確認いただければと思いますけども、
0:03:36	基本的にはこの標準応答スペクトルの審査を受けまして、その審査の結果を反映した内容、それから、地震本部の
0:03:47	の取り入れに伴う記載の変更、大きくこの2点を補正をする予定にしております。
0:03:55	次に7ポツ6、基礎地盤でございますけども、こちらは先日のN会合で、受けましたコメントを反映すると、先ほど鈴木さんからもお話ございましたけども、
0:04:07	岩盤分類図の反映でありましたり、一部ちょっと記載がちょっと不十分適正化を図る必要があるといったところコメントいただきましたのでそういったところを反映するように、反映といいますか。
0:04:19	修正いたしまして補正をしたいと考えております。
0:04:23	それと、7ポツ7の津波でございます。こちらは当初申請の中には入っていなかったものでございますけども、地震本部の
0:04:34	ご説明をする中で、今回の長期評価のを取り込む反映するっていう、した内容について、補正に
0:04:46	補正をさせていただくと。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:04:48	ということで、ちょっと繰り返しなりますけど 7 ポツ 3 の地盤、7 ポツ 5 の地震、7 ポツ 6 の基礎地盤、そして 7 ポツの津波、この 4 項目について、
0:04:58	補正をするように考えてございます。
0:05:01	本日は 7 ポツ 5 の地震についてご説明いたしまして、あと、ちょっと本日、ちょっとこの後になりますけども 7 ポツなる津波について資料のご提出をさせていただきたいと思っております、ございます。
0:05:14	で、残る 7 ポツ 3 の地盤、それから 7 ポツ 6 の基礎地盤、これにつきましては今先日、先週の会合を踏まえましてちょっとちょっと作業を行っているところでございますので、資料の準備ができ次第、
0:05:27	提出をさせていただきたいというふうに考えてございます。
0:05:31	状況といたしましては以上です。
0:05:35	はい。規制庁鈴木です。ご説明ありがとうございました。他あれ 7 ポツ 4 って何でしたっけ。
0:05:42	7 ポツ 3 の後 7 ポツ 5 に行きましたけど 7 ポツ 4 は、
0:05:48	火山ってもっと後だよな。
0:05:52	いいですよ。はい。ちょっと何なのかなと思ってパツとで、地盤で敷地内と敷地周辺と全体多分入ると思うんですけど、毛利は敷地内になるのかな敷地外もあるのかもしれないけどそこは、
0:06:07	敷地内だけ直し敷地外は直し忘れとかなないようにしてくださいということだけは申し上げ、
0:06:13	そうすると一、今日は何で地震。
0:06:17	の部分で多分地震本部 2022、これは多分先週の会合で少し申し上げたアノ領域、
0:06:24	の話は多分まだ資料の提出に関して多分反映されてないんだと思うんで、そこはまた今後直されるとして、はい。
0:06:33	あとは、まじ津波はほとんど直す中身ないですけど、水利か。
0:06:38	明日エリアだったら別にいいですはい。
0:06:41	ですねはい。
0:06:42	わかりました。ちょっとそういう意味で先にスケジュール感というか、いつぐらいに出てくるのかっていうとこだけ変えます地盤関係はいつぐらい。
0:06:54	ほぼが図面だと思いますけどね。
0:06:57	はい。九州電力の今林です。7 ポツ 3 の地盤んですが、先ほど、敷地内、広域っていうお話ございましたけども、そのあたり、関係する図面

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

	に関しては確認終わってございまして広域は基本的に反映するものはない。
0:07:13	というふうに思っております。
0:07:15	従いまして敷地内の図面の修正ということになります。
0:07:20	で、スケジュール感ですけれども、7ポツ3の地盤、それから、7ポツ6の基礎地盤、こちらについては、今作業といたしました今週中に作業が一通り終わる。
0:07:31	予定で今進めている状況です。
0:07:35	まだ今作業中ですのでちょっとまだ、何時という非常にあれですけれども今状況からいきますと基本週金曜日ぐらいには作業として収容できるんじゃないかなという見通しで進めているところです。
0:07:48	以上です。
0:07:53	はい。それは御社の中での作業ということで提出の日、日はまだ
0:07:59	確認させていただく定修ヤマダふ
0:08:01	見て、
0:08:04	はい、えっと、そうですね提出といたしまして、今
0:08:08	あくまでちょっと予定になりますけれども、金曜日に1000、電子データを御受けさしていただきまして、その後紙、紙の資料を翌週になるかと思えますけれども、
0:08:20	提出できるのではないかなというふうには考えております。
0:08:30	はい、わかりました。
0:08:33	そうですね反映判例が会合で1回ご説明があったんでその資料をそれを反映。
0:08:40	申請書のほうに反映したって多分対応関係もあるし、
0:08:43	地形変更ませんし、地盤斜面の方のところで、介護でご説明いただいたを申請書と照らして確認しますと、
0:08:52	岩盤分類も同じですね。はい。
0:08:55	わかりました。
0:08:56	ただ、今のところ、お聞きする限りでは、会合で、なりでお話を伺った内容がテンロクにどう反映されるかということで、タグチオクわかりましたはい。津波が、今日、
0:09:08	ですね。
0:09:09	内容もそんなに多くはないと思いますこれは、先週の会合で少し申し上げたさっきの領域の話ですね、説明ぶりとか書きぶり、そこら辺は当然踏まえたもので出て、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:09:22	きている。
0:09:23	という理解でいいですか。
0:09:26	出てくるか。はい。
0:09:29	九州電力の今林です。津波の記載につきましては今の当社の申請書津波の申請書の書きぶりとしたしまして、まず、
0:09:40	すいません書きぶりは結構なので、当然活動の出てきたものを確認していただくだけのヒアリングカガワないんですけど、先週の会合で少し適正化をお願いしている部分があってそれは反映されたものが当然、
0:09:53	出てくる。
0:09:54	それないところも見の意味がないので、
0:09:59	今は反映といいますかその知見を取り込んで
0:10:04	知見を踏まえ、取り組んでます地形を踏まえて、今後のその評価の方にどう反映していくかっていう観点で、その地形、
0:10:13	知見として追加するっていう形の修正をさせていただきます。ちょっと今お話しございました点もう一度ちょっと確認をするとし、しようとは思いますが、今現状で考えているものは、
0:10:26	そういうような修正で
0:10:29	補正をさせていただけたらというふうに考えております。
0:10:32	はい仙台の場合は反映というか正確に多分影響を確認して、多分
0:10:39	何だ、波源モデルなので震源モデルの変える必要はないという
0:10:44	話なので、
0:10:45	はい。
0:10:46	下で地震が今回町ですねそれで一通りで当然花壇はないし、
0:10:52	敷地内も凡例の話なんで、いわゆる敷地内敷地内断層だとかいう話は一切更新情報がない。
0:11:00	はい。
0:11:00	わかりました。
0:11:02	ではですね、今日のできている、地震関係の説明ということで、
0:11:09	ちょっと事前にご説明のときをお願いしたいのは、結構文章的に言っていて、多分後ろの表とか図、
0:11:18	呉も多分直してたり、単に番号がずれただけでもあるんですけど、多分変えてるような図とかもあって、結構探すの大変なので、何か直してるんだったらこう、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:11:28	その図が何ページ、例えば 7.5. 何. 何図とかっていうのをもし今回変えるんだったら、ちょっと何ページにあるかっていうのは説明中で、弓削ながら言っていた方がいいです変えてない図はいいんですけど。
0:11:41	何か 7. 何とか何とか図は書いてありますので後でご覧くださいって言うところがあるので、極力ですけど、もし準備されてなければしょうがないんですけど、
0:11:50	あと、当然ながら、今日、
0:11:54	41 番地震動表がですね、当然この内容を
0:11:59	申請書に反映するところになりますはずなので、まとめ資料の地震動評価のまとめ資料のどこの内容の話をしてるかっていうのは、ちょっと対応関係わかるようにしていただきたいですし、
0:12:10	もしまとめし地震動評価のまとめ資料に入っていない内容だけど、書いてるものがあるっていうんだったら、ちょっとそれはわかるような形で説明の中で、
0:12:19	ください。
0:12:21	わかりますかね。
0:12:23	この、
0:12:25	地震動評価まとめ資料の 9 月 20 日、これには入っていないんだけど、電力の中でいじっているものがあるんだたらちょっとそれはわかるような形で説明をしてくださいと。
0:12:34	いう値がいいです。では、
0:12:37	どちらから先にしますかね。
0:12:41	では、まずはまとめ資料の方の、前回会合からの修正ですかね。
0:12:47	項を先に設置まあそこはそんなに時間かからないと思いますけど、このご説明と補正の説明じゃこれ通しで結構ですので、説明お願いします。
0:13:02	九州電力の盛でございます。よろしくお願いいたします。
0:13:05	それではPTSの 041 のまとめ資料の方について変更点をちょっとご説明いたします。
0:13:13	まず、2 ページをお願いいたします。
0:13:17	と。
0:13:18	ページから 7 ページにかけてになりますが、
0:13:21	今回の標準応答スペクトルを考慮した地震動評価の
0:13:26	流れを、資料、
0:13:28	わかりわかりアサノ観点で追加して記載の充実を図ってございます。
0:13:33	3 ページをお願いいたします。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:13:36	3、三、四、3 ページまた 4 ページでは、
0:13:39	設置許可基準規則解釈別記 2 の改正の概要をお示ししてまして、
0:13:43	全国共通に考慮すべき地震動として、標準応答スペクトルを考慮した地震動評価が求められたことを記載してございます。
0:13:52	5 ページをお願いいたします。
0:13:55	5 ページでは、基準地震動の策定のフローを追記してまして、今回標準応答スペクトルを考慮した地震動を、
0:14:03	検討対象とわかるように徒手書きで記載をしてございます。
0:14:07	またフローの下の絵と米印 1 としまして記載してございますが、標準応答スペクトルの地震動評価にあたり、
0:14:15	評価から変更した内容についても記載を補足しています。
0:14:19	基準や、具体的には基準やガイドの改正による、
0:14:23	改正によりまして、
0:14:27	Mw6.5 程度未満の地震としましては、
0:14:30	桃井の地震及び標準応答スペクトルを考慮した地震動評価の二つを評価し、
0:14:35	14 地震を削除し、しましたこと。
0:14:38	それから、カウほかの応答スペクトルを削除したことをご説明してございます。
0:14:45	それから、6 ページをお願いいたします。
0:14:48	6 ページは、基準地震動の最大加速度一覧を示してございまして、
0:14:53	既許可のSs1 から 2、今回の標準と関スペクトルを考慮した地震動を、
0:14:58	考慮する旨も値を記載してございます。
0:15:03	7 ページは、標準音スペックを考慮した地震動評価の流れをと、示してございます。
0:15:12	2 ページ以降は、地下構造のモデルの設定となります。
0:15:16	9 ページをお願いいたします。
0:15:19	9 ページでは、標準応答スペックを考慮した地震動評価として、
0:15:24	評価モデルを使うこと。
0:15:26	補足として審査でご説明しました参考 1 の速度構造の見直しの経緯。
0:15:31	及び参考 2 の応答スペクトルの比較結果を引用してございます。
0:15:36	また地震基盤相当面をVs2200 メーター間以上毎秒以上の層に設定することの記載を追記してございます。
0:15:44	それからページがちょっと飛んで恐縮でございまして、
0:15:48	71 ページをお願いいたします。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:15:54	71 ページは、速度構造の見直しに関わる経緯について、参考 1 で示したものでございますが、71 ページの冒頭の三つのポツになりますけども、
0:16:05	もともとの会合の資料では、会合のコメントを踏まえてってことで、簡易なちょっと記載になってございましたけども、
0:16:13	経緯などわかりやすい表現となるように記載を充実させていただきます。
0:16:17	まとめ資料の方の変更は以上となります。
0:16:22	続きまして
0:16:24	PTS046 の補足説明資料の方ですね。
0:16:27	こちらについてご説明をいたします。
0:16:31	まず 1 ページをお願いいたします。
0:16:37	今回標準応答スペクトルを考慮した。
0:16:40	地震動評価の補正申請書案について、
0:16:43	既許可及び当初申請書から変更になった箇所を下記のように、整理を行っていますのでご説明いたします。
0:16:50	まず、変更となった箇所についてABCDと、大きく四つに分類してございます。
0:16:56	まず、委員につきましては、令和 3 年 4 月 21 日の基準改正に伴い、当初申請で変更した箇所になってございまして、
0:17:04	文字で記載をさせていただきます。
0:17:06	1 は、
0:17:08	基準等の改正に伴う記載の反映で、
0:17:11	基準規則の解釈、解釈及び審査ガイドの完成に改正によりまして、
0:17:16	地域性を考慮する地震動より、全国共通に考慮すべき地震像の記載が追加されたことに伴い記載を反映した箇所、
0:17:23	となっております
0:17:25	2 につきましては、
0:17:27	許可基準規則の解釈の改正による、
0:17:30	標準応答スペクトルを考慮した地震動の検討結果について、
0:17:34	当初申請段階段階での検討内容となります。
0:17:40	続いて 3 は、の検討結果として、
0:17:43	Ss3 を追加したところと、ルールになります。
0:17:48	次にBになりますが、Bは、今回当初申請から標準応答スペクトルを考慮した地震動について審査いただいた中で見直した記載になっておりまして、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:17:57	B値からB5の通り整理してございます。
0:18:02	次に、Cですが、Cはその他記載を見直した箇所となります。
0:18:07	日にちは、
0:18:08	カトウほかに関する記載の削除で、評価では、
0:18:12	震源を特定せず策定する地震動として、
0:18:15	加藤ほかの知見を取り入れていましたが、基準改正により、留萌と標準応答スペクトルの二つを考慮する旨が記載されましたので、
0:18:22	標準応答スペクトルはカトウ他を全周期で上回りますのでこちらを削除しました。
0:18:28	次にC2ですが、原子力安全基盤機構に関する記載の削除になりまして、
0:18:33	既許可では、カトウ深野妥当性確認として、
0:18:36	原子力安全基盤機構の地震基盤における一応ハザードスペクトルと加藤他のスペクトルを比較を行っていましたが、
0:18:43	加藤スペクトルを削除したことにより、
0:18:47	こちらの
0:18:48	知見もいいです。
0:18:50	原子力安全基盤機構に関する記載を削除してございます。
0:18:54	領域震源の一樣ハザードスペクトルの比較により、超過確率を参照することで、震源を特定せず作成する地震動の妥当性は確認をしております。
0:19:03	Cさんは、Mw6.5程度用の地震、14地震に、
0:19:08	ついて、
0:19:09	審査ガイドで収集対象となる内部地殻内地震の、
0:19:13	ページの記載を、
0:19:15	踏まえて機構では考慮してございましたが、ガイド改正により、収集対象となる。
0:19:20	例示が削除されたことから、こちらに関わる記載を削除したものでございます。
0:19:30	それからC4は、
0:19:32	震源を特定せず策定する地震動の基準地震動の策定に関する、
0:19:36	方針の見直しで、当初申請では、Ss1とSs2と今回標準応答スペクトルを比較することで、
0:19:43	Ss3を
0:19:45	基準地震動として策定してございましたが、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:19:48	今回それを、Ss1 との比較に、
0:19:53	こうして策定する方針エミ直してございます。
0:19:56	C5 はその他わかりやすさの観点で
0:20:00	構成を見直したり記載の充実を図った箇所になります。
0:20:03	Dは、記載の通りでございますが、地震本部の知見、具体的には、日本日向灘及び南西諸島海溝周辺の、
0:20:12	地震評価の長期活動第 2 版に関する影響確認。
0:20:16	について記載を追記した場所。
0:20:18	として分類をしてございます。
0:20:22	2 ページ 3 ページになりますが、
0:20:25	補正申請書案における、小項目の変更箇所を示してございます。
0:20:30	3 ページをめくっていただきまして、
0:20:34	3 ページのですね、例えば、検討
0:20:38	今回補正申請案の
0:20:41	検討、(2)検討対象地震の選定と震源近傍の観測記録の収集ですとか、
0:20:47	2000 年鳥取県西部地震ですとか、岩手宮城内陸地震ですとか、こういうところ、
0:20:53	はわかりやすさの観点で、ちょっと章立てですとかそういうものを追加したものが、
0:20:58	ございます。
0:21:01	あとは、7 ポツ 5 ポツ 6 ポツ 3 の基準地震動Ssの策定は設計をとスペックから見直したように、
0:21:08	だから小タイトルですとかそういうものも、
0:21:11	別の表現に直したのもございます。
0:21:15	ではちょっと変更点についてご説明を行っていきます。
0:21:21	4 ページ以降ですが、一番左に許可の申請書、真ん中に当初申請、それから 3 列目に今回補正申請案、
0:21:30	備考欄に先ほど 1 ページでお示しました変更理由を明示して、
0:21:36	変更点を示してございます。
0:21:39	ページが飛んで恐縮でございますが、
0:21:44	13 ページ 14 ページをお願いいたします。
0:21:49	13 ページ 14 ページの 7 ポツ 5 ポツ 4 ポツ 2 のプレート間地震、それから 7 ポツ 5 ポツ 4 ポツ 3 の海洋プレート内地震につきましては、
0:21:58	地震調査委員会にですね先ほどの地震調査委員会 2022 の、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発音者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:22:03	影響の確認結果について、それぞれ影響を与える地震ではないという、
0:22:09	ことを確認しましたので、その内容について記載を追記してございます。
0:22:13	それについては図表の追加等はございません。
0:22:18	続きまして、15 ページをお願いいたします。
0:22:24	15 ページは、
0:22:26	市内の地震観測記録につきまして、
0:22:28	7 発 5 ポツ、5 ポツ 3 の(1)の敷地内の地震観測にございますが、
0:22:34	こちらにつきましては、審査でご説明しました既許可以降に取得した、
0:22:40	15 地震を反映してございます。
0:22:44	図書につきましても、同様に反映しています。
0:22:47	対応する表をご説明しますと、
0:22:50	またちょっとページ飛んで恐縮でございますけど、
0:22:57	まず 47 ページから 51 ページになりますが、
0:23:03	こちらの表の
0:23:05	7 ポツ、5 ポツ 5 ポツの主な地震観測のところに、
0:23:12	評価のご自身からAとし、今回審査でご説明しました 15 地震を加えて、
0:23:18	一覧表として作成してございます。
0:23:21	48 ページ、49 ページ、それから 50 ページが、今回追加した地震の諸元となっております。
0:23:29	続きまして、106 ページから、
0:23:34	9 ページをお願いいたします。
0:23:58	あ、失礼しました。106、105 ページから、
0:24:02	109 ページですね、お願いいたします。
0:24:05	105 ページでは、
0:24:07	主な地震の震央分布図ですね、こちらにも、土岐鹿野ご自身から 15 地震を加えてございます
0:24:15	こちらは審査でご説明したものになっております。
0:24:19	それから 106 ページから 109 ページですね。
0:24:24	こちらの、こちらには主な地震、
0:24:28	先ほどの 15 地震の応答スペクトルを、
0:24:31	追加してございました。
0:24:35	こちらにつきましてはまとめ資料には応答スペクトルは直接記載はしてございませんが、
0:24:43	ヒアリング等で記録集として提示したものを、編集して図示したものでございます。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:24:51	また主な地震の反映に伴いまして、
0:24:54	到来方向別の応答スペクトルについても見直しを行ってございます。
0:24:58	こちらが 111 ページになります。
0:25:02	到来方向別の地震を示してまして、こちらM5 以上の地震。
0:25:07	を、数を
0:25:09	1 回交付って、
0:25:11	増えたものも考慮しまして、データ更新を行って整理しました結果を、
0:25:16	お示してございます。
0:25:18	いずれの方向につきましても、既許可の、
0:25:24	加藤江藤さん。
0:25:25	から傾向は変わりませんで、
0:25:28	観測記録とノダの応答スペクトル比は、
0:25:30	概ね 1 を下回っているということを確認してございます。
0:25:34	こちらにつきましては今まとめ資料の方には、反映をし、
0:25:37	記載はございません。
0:25:42	ちょっとまたすみません、ページ戻りまして恐縮ですが、
0:25:46	16 ページをお願いいたします。
0:25:53	16 ページは、-7 ポツ 5 ポツ 5 ポツ 4 地下構造モデルにつきましては、
0:25:58	審査を踏まえて、長周期体における理論計算のモデルから、
0:26:02	地震の評価のモデルに記載を見直しまして、また、C5 わかりやすさの観点から、
0:26:08	速度構造密度減衰について設定の根拠や、
0:26:11	地震観測記録による妥当性確認等の記載の充実を図ってございます
0:26:18	構造モリに、
0:26:19	では、52 ページになりますが、
0:26:22	ちょっと
0:26:23	基本的に変わってございませんが、こちらわかりやすさの観点から、
0:26:28	ELを追記したり、あと先ほどご説明しましたように、聴取市況のモデルから、振動評価のモデルということで記載を見直してございます。
0:26:42	行きまして、21 ページをお願いいたします。
0:26:51	21 ページは、こちらは敷地ごとに震源を特定して策定する地震動の、
0:26:56	ノダの応答スペクトルに基づく地震動評価において、
0:27:00	地震監査記録の応答スペクトル比の補正について記載してございますが、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:27:04	評価では 5 地震を用いていましたが、機構の地震を加えた 20 地震で 応答スペクトル比を、
0:27:10	検討した結果を反映してございます。
0:27:13	図としましては、経営準備と見ますと、
0:27:16	126 ページになります。
0:27:18	126 ページをちょっとご覧ください。
0:27:21	126 ページをご覧ください、2、今回 20 地震で検討した。
0:27:26	内陸地殻内地震探査記録に基づく補正係数をお示してございまして、
0:27:35	こちらとも既許可と同様に、
0:27:38	応答スペクトル比は、1.0 を下回ることから、
0:27:43	評価評価に影響がないことを確認してございます
0:27:46	こちら、まとめ資料に記載は現状してないものでございます。
0:27:57	つきまして、22 ページに戻っていただきまして、
0:28:01	22 ページの真ん中の削除のところになりますけど、
0:28:05	こちらは加藤ほかに関する記載を削除したところでございます。
0:28:11	その下の震源近傍の監査記録の収集等の箇所につきましては、
0:28:16	岡安さんの観点から、記載の充実を図ったものでございます。
0:28:23	それから、23 ページをお願いいたします。
0:28:29	当初申請における地域性を考慮する地震動及び全国に共通に考慮す べき地震動の記載は変更はございませんが、
0:28:37	標準応答スペクトルに関して、
0:28:40	Mw6.5 程度未満の 14 地震に関する記載。
0:28:44	について表に記載した部分を削除してございます。
0:28:50	表の方は、
0:29:01	73 ページになりますが、
0:29:04	73 ページの方で、もともと
0:29:07	Mw6.5 程度以上の地震も加えた 16 地震の表を示しまして示しまし て、こちらを削除してございます。
0:29:21	25 ページの方、お願いいたします。
0:29:26	25 ページの方も、
0:29:31	こちらを、すみません、
0:29:35	2000 年鳥取県西部 24 ページ 25 ページの 2004 年鳥取県西部地震、 それから、
0:29:41	2008 年岩手宮城内陸地震につきましては、わかりやすさの観点から、
0:29:46	そうタイトルをつけたり、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:29:48	それから
0:29:49	宗の最後になりますけども、
0:29:52	以前はですね発生しないと考えられるというような期間の時は表現となっていましたものを、
0:29:57	発生しないと考えられることから乾燥記録の収集対象外とするということで、記載の充実を図ってございます。
0:30:11	それから次に 25 ページをお願いします。
0:30:15	25 ページも同じように、
0:30:19	14 地震の記載に関する削除、それから、全国共通に考慮すべき地震動のところにつきましては、
0:30:28	収集対象とする地震 2004 年の留萌地震それから標準応答スペクトルを考慮した地震。
0:30:33	この二つを対象とするところを若井さんの観点から記載の充実を図ってございます。
0:30:39	それから 25 ページ、26 ページになりますけども、
0:30:45	パイル留萌支庁南部地震のところにつきましても、
0:30:51	あとほかにチャンスに関する記載を削除しました。
0:30:54	またこちら記載のわかりやすさの観点で章立てを追加しましたり、
0:30:59	また許可の記載でもですけど、結局新評価でははぎとりに際して地盤モデルの不確かさを考慮しまして地震動評価をし、
0:31:08	さらに保守性の観点で地震動を嵩上げしていますので、
0:31:12	そちらがわかるように記載を見直してございます。
0:31:17	これ 26 ページをお願いいたします
0:31:21	26 ページは、標準応答スペクトルを考慮した地震動の、
0:31:25	箇所について審査でご説明した内容を反映してございます
0:31:31	まず、地震基盤相当面で定義されました標準応答スペクトルに適合する、
0:31:36	模擬地震はを作成しまして、地下構造モデルを用いて、解放基盤表面の標準応答スペクトルを考慮した地震動を、
0:31:43	作成する方針を示しています。
0:31:45	うん。
0:31:46	方針に従いまして、
0:31:48	1、地震基盤相当面、
0:31:50	2 オギ自身は、それから 27 ページになりますけども、
0:31:55	3 の

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:31:56	うん。
0:31:57	標準応答スペクトルを考慮した地震動の順に、
0:32:00	審査で確認いただいた事項を反映してございます。
0:32:04	2 の模擬地震はでは、トラン水槽を用いた模擬地震後、観測位相を用いた模擬地震はの、
0:32:10	結果をお示ししまして、
0:32:12	3 の標準応答スペクトルを考慮した地震動で、選定を行い、乱數位相を用いる標準スペクトルを考慮した地震動を選定する記載を、としてございます
0:32:23	図表につきましては、152 ページから 163 ページに、
0:32:29	採用してございます。
0:32:35	52 ページから、154 ページ
0:32:40	まず 52 ページ。
0:32:43	154
0:32:45	ページまでは、
0:32:46	応答スペクトル比をし
0:32:50	こちら審査でご説明した。
0:32:52	内容になる。
0:32:54	だから 155 ページ 156 ページの、
0:32:58	こちらは
0:32:59	地震基盤相当面の
0:33:01	157 ページ
0:33:03	は、実際、地震基盤相当面の模擬地震作成結果になってまして。
0:33:09	こちら審査でご説明した内容。
0:33:11	になります。
0:33:13	158 ページから、
0:33:15	160 ページまでですね。
0:33:17	こちらは、開府
0:33:19	含水層と、それから観測を用いた模擬地震開口基盤表面の地震版の作成結果になってまして、
0:33:25	こちら会合でお示したのになってございます。
0:33:33	28 ページをお願いいたします。
0:33:37	28 ページは、震源を特定作成図作成する地震動
0:33:42	のについて、
0:33:44	策定結果を、(3)で、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:33:47	今日からちょっと昇降線を見直してございますので加古さんとなっておりますけど、
0:33:52	こちらはこれまでそれぞれMw6.5 程度以上それから 6.5 程度未満のですね、検討結果との関係がわかるように、
0:34:00	記載の充実を図ってございます。
0:34:03	それから 28 ページの中段、超過確率の参照につきましては、
0:34:08	あと、JNESの記載を削除し、してございます。
0:34:14	で、図の方は 164 ページから、
0:34:19	65 ページですね、こちらは
0:34:22	あと他の記載を削除してごさい。
0:34:34	つきまして、29 ページをお願いいたします。
0:34:38	29 ページでは、
0:34:41	C5 わかりやすさの観点から、
0:34:43	設計応答スペクトルという許可の表現になっていたものを、基準地震動策定ということで、見直しを図ってございます。
0:34:52	また、一部きっと他にも文言で記載の適正を図っているものがございますが、
0:34:57	記載の通りです。
0:34:59	30 ページをお願いいたします。
0:35:03	30 ページの
0:35:05	中段のところになりますけども、こちらの先ほどご説明しましたC4 で、
0:35:12	当初申請ではSs1 とSs1 の比較で、
0:35:16	標準応答スペクトルを考慮した地震動を比較していたものを、今回
0:35:21	Ss1 と比較して基準地震動を策定する方針としてと見直しを行ってごさいます。
0:35:29	から、31 ページをお願いいたします
0:35:35	基準地震動の時刻歴は形を、
0:35:40	お示してございまして許可ではこちらの設計を模擬時はということで記載をしておりましたが、
0:35:46	こちらのSSSすべてのSsのですね、時刻歴は形をし、お示してございますので、
0:35:51	堀家さんの観点から記載を見直してございます
0:35:57	こちらにですね、これらのですね、対応する図につきましては、
0:36:02	ちょっとご説明割愛しましたが、
0:36:05	せずのところの、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:36:07	まず
0:36:09	166 ページですとか 167 ページ
0:36:12	ではカトウ他の。
0:36:16	166 ページ 167 ページの、
0:36:18	7 ポツ 5 ポツ 6-50 図ですとか、次のページの 51 図は、
0:36:22	領域震源等特定せずのですね。
0:36:27	行ってございますけども、こちらは、加藤スペクトルを、
0:36:31	2 人、
0:36:32	今回、
0:36:35	標準応答スペクトルを見直しでございますのでそちらを変更してござい ます。
0:36:41	それから、Ssの、今回策定結果を反映したページとしましては、
0:36:47	177 ページ
0:36:48	から、
0:36:51	180 ページ辺りに応答スペクトルの、
0:36:55	枠がございます。
0:36:57	177 ページでは、
0:36:59	本スペクトルを削除をまず、
0:37:03	また
0:37:04	178 ページは上下方向、すいません、移動時方向ですので、こちらも加 藤スペクトルの削除を行う。
0:37:12	このページはいずれもSs3を今回
0:37:15	審査の中で見直しでございますので、
0:37:18	こちらを反映してございます。
0:37:22	から飛んで 184 ページですね。
0:37:28	こちらはSSさんの時刻歴は形になりますけども、
0:37:32	こちらも
0:37:33	諸申請からSs3 見直しでございますので、
0:37:36	増、
0:37:37	変更してござい
0:37:39	185 ページから 186 ページになりますが、
0:37:43	こちらも超過確率の参照で、Ss3 を見直しましたのでそちらを反映して ございます。
0:37:52	すみません、ページ戻っていただきまして、33 ページをお願いいたしま す。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:37:58	免震構造施設設計を基準地震動の
0:38:01	特定の箇所になりますけども、
0:38:04	こちら地震本部調査、地震調査委員会の 2022 の知見の中で、
0:38:13	1 件について確認を行っております、地震規模や対象領域について、
0:38:18	影響がないことを確認しておりますので、
0:38:21	こちらを、について記載をしております。
0:38:28	30、
0:38:29	5 ページ以降、35 ページから、
0:38:32	39 ページは参考文献となっております。
0:38:39	35 ページの(7)ですけども、
0:38:43	気象庁の
0:38:45	知見につきましては、
0:38:47	許可以降のですね、先ほど 15 地震を追加したことから、その諸元として地震月報としてCatalog
0:38:54	地震月報カタログを追記しております
0:38:57	から、
0:38:59	36 ページの 18 番になりますけども、
0:39:01	こちらは先ほどご説明しました地震本部の知見をですね、こちら追加しております。
0:39:10	38 ページは、カトウカトウとかの削除に伴い、文献を削除しております。
0:39:18	あとその他の変更としまして、
0:39:23	4 ページ
0:39:26	それから 112 ページになりますけど、
0:39:29	104 ページは、
0:39:32	地震観測点の、
0:39:33	鉛直アレイの配置図をお示しております、
0:39:38	それから、
0:39:39	92 ページは、微動アレイ観測の
0:39:43	ハイジ
0:39:44	はいツジになってございます。
0:39:46	こちらは基礎地盤の方の審査の方で地形変更を
0:39:50	説明をさせていただきましたが、配置図のほうもそちらを反映した図に差し替えを行っております。
0:39:57	はい。説明は以上となります。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:40:04	はい、説明ありがとうございました。
0:40:08	ちょっとご説明の中で、そう。あれかな、まとめ資料なりこれまでの審査の中で説明されて、
0:40:18	中、
0:40:20	た部分が幾つかあってですね、長期評価はいいんだけどちょっと待ってくださいね。
0:40:26	10、ちょっと待て。
0:40:30	15 ページから 16 ページぐらいのところですかね。
0:40:44	今、変えたのはどこかな主な。
0:40:47	7553
0:40:50	地震観測微動アレイ探査。
0:40:52	で、敷地の内の地震観測で主な地震の諸元を問い、
0:40:57	で、
0:40:57	都心部で、
0:40:59	これを足されているんですけど。
0:41:07	これを、
0:41:08	出された。
0:41:11	意図としては、いや、当然ながらその、
0:41:14	観測記録は毎年取れるので、どっかでアップデートして思うと思えばいつでもアップデートできるんですけど、
0:41:20	これを出された意図というのは、これはイセ地下構造モデルの。
0:41:25	御社の説明だまとめ資料の方では、14 ページですかね、適用性確認に用いる地震症例。
0:41:33	この適用性の
0:41:35	確認で、
0:41:36	共管審査事後だったものにプラス 10 をやって、計 20 の地震で適用性を確認したので、
0:41:45	それを今回の
0:41:48	主な観測、地震の諸元に出してきました。それによって、同じ諸元をですよ、今日を基にしているものを、
0:41:59	羽根でアップデートしましたっていうそういうご説明ですかね。意図としては、
0:42:07	はい九州電力の本村でございます。先ほど鈴木さんからありましたけども、審査の中で、20 地震ということで、適用性に地下構造モデルの適用性について検討してますので、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:42:20	それをちょっと、観測記録使ってるというところもありますのでアップデートしたというところで、おっしゃる通りでござい
0:42:29	をするとですよ。
0:42:32	またすみません戻って補足説明資料側の方に戻って 16 ページの一番最後ですね。
0:42:38	設定した地下構造モデルについて、
0:42:41	鉛直アレイ観測結果及び微動アレイ探査結果と成功
0:42:48	していることを確認したってなっていて、
0:42:51	ここで言っているすいませんその鉛直アレイとそのあとの微動アレイっていうのは、
0:42:55	これはそれぞれどのことを説明してます。
0:43:02	はい九州電力の本村でございませう。鉛直アレイ観測結果につきましては先ほど
0:43:08	まとめ資料で 14 ページという話がありましたけども、
0:43:17	14 ページ以降で、今の今回の地下構造モデル、評価モデルですけどもそれとの比較をこのページ以降でやっておりますので、その確認になります。
0:43:27	微動アレイにつきましては、もともと既許可のときに、速度構造の確認ということで
0:43:36	地下構造モデルルーの分散曲線と、微動アレイの観測位相、比較して 1、整合がとれてるところを確認してございましたので、その部分を記載しているということでございませう。
0:43:53	すみませう。
0:43:56	微動アレイはまとめ、
0:43:59	資料でいうと 109 ページ。
0:44:03	これだから当時ですよ。新規制基準適合の審査の時に、
0:44:09	当初申請から見直した見直し後の地下構造モデルをもとにといて、
0:44:15	この話をされていて、
0:44:17	鉛直アレイ観測結果というのは、その前のページのものも含んでいる。
0:44:25	これは当時これも当時ですね。
0:44:27	この話と、
0:44:29	あとは 20 地震を使って、いわゆるもともと、
0:44:33	それから長周期体における理論的方法にもよる評価に用いるって言った部分を、
0:44:38	標準応答スペクトルも含めているので、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:44:41	観測記録を基に行った、そこで呼んでいる。
0:44:48	なるほど。
0:44:50	そこはそれとしてわかったんですけど、別にここって、鉛直アレイ観測結果っていうところは別に直接、
0:44:58	さっき言った主な観測地震の諸元っていうところは直接呼んではないですよね。
0:45:03	ああやってもし言いたいのはあれです。
0:45:05	7.5. 5.1 表の、
0:45:09	地震観測結果っていうふうにそこまで明確には書いていないんで、別にここで、確かに審査の中では鉛直アレイの結果微動アレイの結果とかっていうのは、
0:45:20	もちろんましたけど、確認をさしていただいでいて、対応関係わかったんですけど、
0:45:25	限界は、地下構造面の設定根拠としてそもそも新しい地震計観測結果を使っていて、今回は少しその適用許可のものの適用範囲を少し広げるといふか、
0:45:37	実際に使えるんだよっていうところを適用性の確認だったかな、御社のまとめだね。
0:45:42	やっています、
0:45:43	ちょっとやり方というか使い方というか位置付けがそもそもが違っていて、
0:45:48	一方で、この部分だけ見るとですねあんまりいいんですけどそのさっき言った到来方向とか、
0:45:56	ノダー吳使った場合の応答スペクトル比かな、だから多分素行の2点か、
0:46:02	多分説明としては聞いてないんですけど、
0:46:05	いやもちろんですよ。常に新しい観測記録をとって、それによってもしかしたら、到来方向別で何かもしかしたら従来の説明性がさらに向上するのかもしれないす違う。
0:46:17	されるだけかもしれないし、いや実はちょっと到来方向でこっちの方向はですねってのがあったら、当然ながらそれ言われるまでもなく、常に
0:46:26	イワマ言ってみれば安全性向上評価の中でやって、必要があれば申請に反映してとかってやればいいんですけど、
0:46:32	何か是々非々であんまり説明聞いてないようなものを、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:46:36	こう悪く言うとしれっと入れてきているなあというのが、
0:46:40	気もしてですね。
0:46:42	そこら辺の位置付けは、ちょっとどう考えておられるのか。もちろんできるならや、こういうものとか被害地震とかね、常々、アップデートしていけばベターとしてアベたんですけど、
0:46:54	そこが、
0:46:55	何か川内で今入れてこられてる人っちゅうのをちょっと教えてもらっていいですかね。
0:47:02	はい。九州電力の本村でございます。先ほど玄海の話もちょっとありましたけど限界設定根拠とか、いう話もありますので必要かなというところ。川内につきましても、
0:47:17	到来方向とか、ノダの補正係数の話は、審査では、当然御説明は、
0:47:24	しておりませんけども、我々のスタンスとして、観測 20 地震の記録が取れて、それを地下構造モデルでの検討、適用性検討のところを使ってるところもありまして、
0:47:35	アップデートできるところ、影響はないんですけども、そういうスタンスで、今回ちょっと仙台の方も反映をしているというところでございます。
0:47:51	はい。多分御社としては、
0:47:55	影響がないんですけどって思っているとは思んですけど、我々当然それをにして、いや、
0:48:01	こっちから見たら本当に影響ないのっていうんだったら、当然しっかり議論しなきゃいけない話で、
0:48:06	この今日の資料の解像度というかこの小さく多分 111 ページと 126 ページですかね。
0:48:13	この図だけで説明されても、
0:48:15	困るんですよ。もしあの情報としてアップデートされたいんだったら、もともと評価のまとめ資料とかもありますよね。それに対してこれを加えてこうなります。で、
0:48:28	それ関わったものと新しくなったものっていうから何を言えます。それは変わってないのか。説明としては変わるけど、
0:48:37	いわゆる到来方向別で何か特異な増幅がないという結論は変わらないのかっていうのは、
0:48:42	表示応答スペクトルのまとめ資料に入れるのか、ちょっと別刷りです。本来はですね多分溶け込み版、まとめ資料があると本当はねといいですけど、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:48:52	ちょっとここのワース説明いただいてよろしいですかね。その上で、
0:48:58	今の時点で 111 ページお願いできますか。
0:49:10	今回、
0:49:12	これで、
0:49:14	もともと、
0:49:16	20 地震 15+15-20 地震って多分あれもM5 以上ですよ、この図自体も多種多様、M5 以上のはず。
0:49:27	同じですかね。
0:49:28	数が南西。
0:49:30	方コガ 5 から 10 で、
0:49:34	北西方向に、
0:49:35	なんで、ここは差し引きなしですね。
0:49:38	ヒガシ方向が 7 から 25。
0:49:42	で、最後なんか内陸地殻内地震以外、こんなも聞いてないんで、内陸地殻内地震じゃないからそもそも地下構造モデルのところではきかないんですけど、説明としては伺ってないんですけど、
0:49:54	てかまずそもそもこの差分が何なのかが全くわからない。
0:50:00	なので、ちょっと説明はいただきたいその上でなんですけど、
0:50:05	これ一、
0:50:09	ですかね短周期側はこれは最後言いたいのは、
0:50:13	特異、特異なっていうかその比率 1 を大きく上回ってくるようなものがないですっていう話なんだと思うんですけど、もともと既許可のときも鉛直方向は、
0:50:22	これ内陸地殻内地震以外ですかね、若干、
0:50:27	ちょっと 1 を超えてる周期 2、3 秒ぐらいところで 1 を超えていて、そもそも内陸地殻内地震以外なんだからあんまり、
0:50:35	結果としてね関係ない話なんですけど、
0:50:41	新しいものどうなるかというと、これも、
0:50:45	内陸地殻内地震以外はむしろ前回も水平方向も若干、
0:50:51	これなんか、
0:50:53	瘻性がないんで、わかりにくいんですけどちょっと 1 を超えるような周期体もありますけど、
0:50:58	これも、
0:50:59	内陸地殻内に限って言えば、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:51:02	あれですか、度の到来方向って言うても、ほぼ別でいくと、ヒガシ北西南西だから、方向がないやつはもうしょうがないんですけど、
0:51:12	内陸地殻内、
0:51:15	特異な増幅 1 を超えるような増幅が全周期体でないってところには変わりはないってことをご説明したいんですか。
0:51:25	はい。九州電力の本村でございます。111 ページにつきましてはおっしゃる通り内陸地殻内地震以外、プレート間地震とか、そういうところでは、評価の時に、1 秒以上のところがちょっと、
0:51:36	超えてるところありますけども、内陸地殻内地震の方ですね、3 方向ありますけども、許可の方に比べたら、大分ばらつきがなくなって、到来方向の差がなくなってきていると。
0:51:51	というような状況です。先ほどちょっとありましたけども、
0:51:55	ちょっともうこの 3 伝票だと、なかなか見つらいところもあって今回初めてご説明するところもありますので、今回のまとめ資料に入れるか評価の変更点というところで
0:52:08	ご説明させていただくかはちょっと検討させていただきますが、何らかの資料でちょっとわかるようにしたいと思います。
0:52:17	はい。
0:52:18	はい。ちょっと母数となる地震がカナザワない部分も含めて、すいません、その辺ちょっとご説明させていただきますと、もともと 20 地震と我々言っていたものは内陸地殻内地震の、
0:52:32	マグニチュード 5.4 以上というところで括ってまして、今回、この 111 ページにつきましては既許可の時、地震数が少なかったというところもありましたのでちょっと幅を広げて、マグニチュード 5 以上で、
0:52:45	ピックアップしたのになりますので、なので 20 地震以上の話が、数がこの 111 ページには含まれている。
0:52:55	いうところですのでちょっとそこら辺わかるように、ご説明できるよう準備したいと思います。
0:53:03	ごめんなさい、ちょっともう 1 回正確に確認しますけど、
0:53:07	まとめ資料のところは、
0:53:09	確か 24 ページを見ると、ノダの適用範囲を参考に、M5.4 以上って書いてあって、
0:53:17	ここはM5.41、
0:53:19	到来方向別のところはこれはもともとM5 で拾ってたんで、そのの、
0:53:24	違いによってそのマグニチュード 0.4 の違いによって、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:53:28	数が違うということですか。
0:53:31	なるほど。そういうお考えなのはわかりました。
0:53:36	なんでちょっとここはアノられるのであれば、
0:53:39	ちゃんと説明をして、いわゆる技術的に議論をするまでアベキ内容ではないということで多分これまで会合で説明しなかったものイマイれてるんだと。
0:53:50	思われるので、そうであればそこはちゃんと資料化した上で説明をしていただいて、
0:53:56	それをこの申請書反映しましたっていうんだったらそういう形で、
0:53:59	まだちょっとセヒアリングで説明してもらえば、
0:54:02	これがナカノ1点目ですね。
0:54:07	はい。九州電力の本村です。ちょっと資料化して、ご説明したいと思いません承知いたしました。
0:54:21	あとですね、もう1点目が、
0:54:24	面なさい、ちょっとシマ主要な説明部分での変更で、
0:54:29	20ページから応答スペクトルの地震動評価がありますよね。
0:54:35	これが、
0:54:37	C、
0:54:38	ポツ、
0:54:41	で、
0:54:41	ここでまた同じように、似たような形で、
0:54:47	応答スペクトル比ノダと、その観測はぎとりの応答スペクトルノダの応答スペクトルの比、
0:54:57	補正ノダの補正係数をとかっていう形で、
0:55:03	図で示します。で、
0:55:05	これを概ね全周期で1.0下回る傾向となる。これは、
0:55:11	許可の時には、
0:55:12	短周期で補正係数を上回るけれども全体としては
0:55:18	比率で言えば1.0を下回るというふうになってて、
0:55:21	これが126ページ。
0:55:26	2、
0:55:27	あるのですが確かに、
0:55:30	今日これ分母によってどっちが、
0:55:33	これがだから1を超えると。
0:55:36	本来、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:55:39	いわゆる応答スペクトルで地震動評価した結果に、
0:55:42	当該周期なのかそこに補正をかけて上書きする。
0:55:48	或いは場合によってはもともと
0:55:51	点線ですかね、点線の補正係数を使うかどうかということもあり、
0:55:56	それは使わないってのは最後の結論なんだと思うんですけど、
0:56:00	結構大福傾向が変わっていて、
0:56:03	これということで3周期側では、
0:56:06	はぎとりが、
0:56:10	結果がノダと比べるとかなり小さめに、
0:56:15	出ているので、
0:56:17	補正係数をむしろ使ってもいいのかもしれないけど、ここは使えませんってそういう説明になるんですかね。
0:56:25	逆に、
0:56:27	周期1秒以上ですかね、ここは多分、今までの、
0:56:33	ものにくくて左側ですかね許可の時のものに比べて、オダの補正係数のところを上回りつつ、
0:56:41	微妙にこの補比率1にかかっているかちょっと超えているかっていうところも、
0:56:50	あるんですけど。
0:56:52	これは何、概ね、
0:56:54	1以下っていうその概ね1以下っていうことで、
0:56:57	に補正係数を上乘せ。
0:57:00	この周期体の応答スペクトルの地震動評価に
0:57:04	上乘せする必要はない。
0:57:06	程度論から見ると許可の時にも短周期で微妙に1.02秒に差し掛かってちょっと超えているようなところもあるので、それと同じレベルですというご説明なのかもしれないんですけど、
0:57:19	ちょっとこれも、
0:57:21	これは観測記録ってのはそのどれとどれを使っ
0:57:25	これ母数何名になるんですかねこれ。
0:57:30	はい。九州電力の本村でございます。まずこちらのノダの、
0:57:36	応答スペクトルとの比ミイ。
0:57:39	用いた地震については、今回の審査でお示しております20地震を対象にしていますのでM5.4以上の地震になります。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:57:50	先ほどありましたけども、もともと許可の時はですね短周期側で補正係数、黒点線ですね、それより上回ってましたので、
0:58:00	補正係数に関する記載を入れてましたけども、今回短周期側では、落ちてますのでその記載を削除してると。
0:58:09	で、今回の
0:58:11	実践で、
0:58:14	これ、
0:58:16	規制庁の名倉ですけど、
0:58:19	これを取り入れるんだったら介護やんないといけないよ。
0:58:23	だって、
0:58:25	震央距離が遠いやつを入れてるから、短周期が下がるでしょ
0:58:29	距離遠いんだから、
0:58:31	これを、これをじゃあ、
0:58:33	取り入れますと言ったら、
0:58:35	三重が見方が全然変わる変わりますよ。
0:58:40	いや、これちょっと何か、私はここの説明を、
0:58:45	この、これを入れるのであれば確かにデータ反映してるんだけれども同じように反映したんだけど、全く、うん、黄色とかに
0:58:55	もともと入れていたものに対して多分、
0:59:00	信用距離が遠いやつが入っちゃったので、
0:59:05	こういう傾向になったんでこれってすごく、
0:59:09	場合によっては恣意的にとらえられる可能性があるんでちょっと何か、
0:59:14	これ一どうすんだろうか、すみません、ぱっと頭には浮かばないけど、
0:59:20	うん。
0:59:23	明らかに原因は、
0:59:24	わかってる。
0:59:26	ね。うん。ちょっとそこだけちょっと。
0:59:28	要注意かなと思い
0:59:32	はい。九州電力の本村でございます。一応ノダ、タールの適用範囲というものがあましてM5.4以上、100炉程度以内っていうのがあましてそれをしゃくし定規にやったらこういうところになるんですけどやはり主要距離がちょっと遠いところもあるのでかなり短周期が落ち
0:59:48	てるんじゃないかなというのは、我々も思って考えているところでございます。ちょっとこの図の更新のところですね、ちょっと
0:59:59	ちょっと検討したいと思い

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:00:07	ちょっとこれだけ変わらないと。
1:00:12	うん。
1:00:16	わかんない。
1:00:19	サブが全くわからなくて、
1:00:28	もうこれもとは、ご自身でここは 51 ニシナ。
1:00:33	今回は 20 地震。
1:00:35	はい。
1:00:38	はい。
1:00:46	そうですはい。
1:00:48	今回も 5.4 以上ですね、20 地震については、
1:00:51	なので、
1:00:58	ホンダこれ高まとめ資料の 14 ページの、もともとその鹿児島県北西部が 4 の、
1:01:05	九州西側海域 1、
1:01:07	の傾向自身に、方法、熊本地震、
1:01:11	かなり距離が遠い雲熊本地震のやつが出されて、平均化すると、確かバイアスがかなりかかるんで、
1:01:23	そうです 111 ページについては、マグニチュード 5 以上、
1:01:27	なかなかこう、
1:01:28	少ないと、到来方向の議論ができないというところもあったので、ちょっとマグニチュードを下げてヒロキ、
1:01:34	既設の名倉です。
1:01:37	これ私の個人的な所感かもしれないけれども、
1:01:42	やはり既許可で、
1:01:45	このサイトの、
1:01:47	区长っていうのはある程度近くて規模が大きい。
1:01:51	やられてる数少ないサイトウ
1:01:54	だっていう認識があって、そのときのこの補正係数っていうのは、
1:02:00	他のサイトに比べて相対的にですけれども、
1:02:04	検討用地震の地震動評価に用いるための係数としてはより、何ていうかな、確度が高いというか、
1:02:12	そういうふうな見方をしていたのでそういう意味では、明らかに
1:02:17	当初の 5 地震とそこから追加した 15 地震では、
1:02:21	規模感はほぼ同じ。
1:02:24	かちょっと小さいぐらいかもしれないです。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:02:26	明らかに震央距離が違うので、
1:02:29	そういう意味では、両方併記するのが私は、
1:02:32	んじゃないかな。
1:02:33	許可ではこうでこれは地震の規模としては、
1:02:38	と信用距離信用距離でいうとこれぐらい近いものでこれについては近い、規模がでかくて近い。
1:02:44	という意味で意味があってそれに、
1:02:48	うん。距離が遠いものも含めて獲られたものも考慮するところになります。
1:02:53	うん。なんかそこら辺は条件をちゃんと明記した上で両論併記というか両方併記するのが私は、
1:03:00	何か
1:03:02	適切な感じがちょっとします。
1:03:05	これ個人的な所感です
1:03:08	はい九州電力の明石でございます。まさに当社と指定技能長判断した流れで実は今名倉さんおっしゃった流れでございまして、図をアップデートスルーにあたって、やっぱり傾向が大きく変わってるこれは何ぞやというのは我々の中でも議論があったところ、
1:03:25	で、結局データをアップデートさせた結果熊本地震、距離の遠い、いいやつが入った、なので短周期が大きく下がったということなんだという理解はしたところなんです、
1:03:36	もともとの距離の近い地震においてもこのオートスペクトル比については確認してたところで、
1:03:45	今名倉さんがおっしゃったような判断とさらにデータをふやしても、こうなるということで、
1:03:52	ちょっとここは杓子定規に図をもうアップデートするという形をとって要は判断は変わらないということ、我々として結論付けたというものではございました。
1:04:04	しかしながら説明性としては、今名倉さんがおっしゃったような例えば両論併記す。
1:04:10	するような形の方がわかりやすいのかなとも思いますんで、そもそも今日既許可のまとめ資料のこの部分がこうなって、
1:04:20	我々としてこういう判断をしたという資料の形でご説明できてないのが、そもそものところだと思いますんでそこはちょっとしっかりご説明をさせていただければと思います。
1:04:33	規制庁の名倉です。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:04:35	耐専スペクトルの内陸補正係数の適用の考え方っていうのを、耐専スペクトルを決めるとき
1:04:43	のいろいろな専門家の議論と
1:04:46	そういうのを踏まえたときに、これ結構意見が割れたんで、
1:04:50	やっぱり九州とか正断層とか横ずれが支配的な地域
1:04:55	では内陸補正係数を、
1:04:58	適切に観測記録との整合性等も見た上で、個別に判断をしていくんだけど、結構使えるんじゃない
1:05:07	違う、結構あったんですけどね。
1:05:09	私自身はこの仙台の当初の審査の時に、その経緯を見ていく中で、やっぱり、
1:05:16	近くて規模がある程度の記録を見ると、
1:05:21	やっぱりなああのサイト条件にもよるけど内部構成ケースって、適用をちょっと注意しないといけないのかな。
1:05:27	これ安全性評価の関係
1:05:29	というふうな重要な示唆を終えられた。
1:05:31	これ比較だったと私は思っていて、
1:05:34	これをやっぱり、
1:05:37	規模が小さくても距離が遠いものとして、適用範囲に入ってるもの体制。
1:05:43	これについてデータを加えるということはそれはそれで整理としては、
1:05:47	タダウチと同様の整理をしてるっていうことかもしれないんだけど、
1:05:50	これが意味してるか
1:05:52	いうのは、小さい、規模、
1:05:55	規模感はほぼ同じか小さいぐらいでも距離が遠いものを入れると短周期側の、
1:06:00	係数が落ちます。
1:06:02	そうすると、
1:06:03	耐専の補正係数が使えるようになりますって何か本末転倒の、
1:06:08	使い方になってるように、これはとらえられる可能性があって、
1:06:13	そうすると、この、実はこの不アノ二つの、
1:06:16	比較を明示的に載せてしまうと、
1:06:20	これってどうにでも操作可能ですよ
1:06:22	ということを知らせる子
1:06:24	だから九州電力としてもちょっと、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:06:26	ここに関しての解釈っていうのは、他のサイトにも影響するので、
1:06:31	そういう意味でちょっと注意していただきたいし説明の仕方は、
1:06:36	しっかり
1:06:37	何ていうかな、吟味していただきたいなど
1:06:43	九州電力の明石でございます承知いたしましたここはちょっと十分な説明を尽くすようにいたします。
1:06:51	はい。あれは、これは別途またご説明をいただくとして、最後結論としてどれを残すのかっていうところも採用するというカセ制とするのか。
1:07:02	そして説明するのも含めてじゃあ、すみません、お願いしますちょっと今、
1:07:05	今日お聞きしたところですよですね大きくちょっと今の2点があまり話を聞いてないけれども何か図が大きく変わっていて、
1:07:14	というところでした。
1:07:17	他にちょっと大きそうなところがある方がいけば、なければすみません、続けさせていただけますけど、
1:07:24	いいですかね。はい。
1:07:27	はい。
1:07:29	ちょっとどうしようかな、推本の話はすみませんちょっと最後に飛ばさせて、
1:07:36	脱退、
1:07:38	そうするとあまりないのかなあ。
1:07:42	御説明ナカだとこれ玄海の方でお聞きした21ページ以降の特定せずのところは、ほぼほぼ加藤スペクトルの話だったり、或いは地域性のお話。
1:07:53	っていうのは、
1:07:54	ほぼ限界のところ、
1:07:57	聞きした話かと思えます。
1:08:03	どこだったかな、24ページこれほとんど美的なんですけど、
1:08:09	鳥取県と岩手宮城ですね、多分御説明の読上だと。
1:08:15	あれ、最後が、
1:08:17	原子力発電所周辺では発生しないと考えられることからっておっしゃいました結構なためとおっしゃいましたつけ。
1:08:25	いや考えらなので、
1:08:27	最後だから何々のためとか何々のことから、観測記録の収集対象外とするって、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:08:33	その前のくだりを理由にして収集対象外とするっていうそういう文脈なんですよね。
1:08:39	いや御説明中で考えられることからって言ったのかな、だったらその通り書きゃいいんじゃないですかってまずただそれだけの話ですと。
1:08:46	お伺いしたいのは 25 ページ。
1:08:54	これももとの御説明が、
1:08:58	許可のところまで、立場というか、結構こって、何か不確かさって何ですかというのを、当時は別に審査チームではなかったんですけど、
1:09:07	いろいろ聞いた記憶もありますね。
1:09:10	今回そのもとの記載許可の記載が、
1:09:15	25 ページの最後から 26 ページの頭ですよ、解放基盤はを算定しますここも終わってこの解放基盤間にさらに不確かさを考慮というふうに、
1:09:26	書いてあって、
1:09:28	これが確か何社か 10 ガルの切り上げの話、端数切り上げの話だったような気がするんですけど、記憶では、
1:09:34	それを今回、明日、わかりやすさの向上の観点から構成を見直してなってるんですけど、
1:09:42	新しいやつを見るとですね、解放基盤課の算定にあたっては、
1:09:47	K-NET 港町観測の地盤モデルの不確かさを踏まえてだから、解放基盤課の策定の段階で何か不確かさが覆工考慮していて、
1:09:58	さらに保守性を考慮した上で地震動って言ってるのは、解放基盤は、
1:10:05	にある御社そのまま解放基盤はそのまま、
1:10:10	だったかな、あれ。
1:10:11	港町観測点から推定する解放基盤化をそのまま使うんだけど、その時に、
1:10:17	保守性といってだから従来これ不確かさを考慮したと云ってるところこんな保守性を考慮したというふうになんか読みかえてるんですけど、かな。
1:10:26	これが、
1:10:27	多分これはですね。
1:10:28	よくまとめ資料から中身は変えてないんだと思うんですけど、どの部分を指してこの話をしようとしているのかが、
1:10:37	わからんのですよ。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:10:39	確かに、後続サイトとかを見ると多分港町観測点の基盤が相当でそこから地下構造モデル使って立ち上げるサイトもちろんあるんですけど、
1:10:50	うん。このそれぞれに分解して説明を敷いて記載を充実したいということなんだと思うんですけど。
1:10:58	この辺りって、
1:10:59	対応する許可のまとめ資料見ても、あんまりそれ、どこのことを指してるんだっていうな、
1:11:04	よくわからないんで、
1:11:06	なのでこれもちょっと許可のまとめ資料の基本再掲なんだと思うんですけど、
1:11:11	どの部分を指して、この不確かさを踏まえて算定していったどの部分を指して保守性を考慮しているっていうのが、
1:11:18	ちょっとここは、記載の充実化とおっしゃるんですけど、ちょっとそこ、
1:11:24	何かずれないようにというか、そちらとしてはこれを不確かさどう思ってこれも、
1:11:29	保守性だと思っていて書きましたと言って、
1:11:32	こっちそれとどれを指しているのかわからなくなるので、この基本中身としては許可の検討から変わってないはずなんで、
1:11:40	ちょっとそこまで行ったんですね、今日手元に当然、許可の時のまとめ資料の、
1:11:46	留萌とかないわけですけど、ちょっとそこは、
1:11:50	ご説明いただきたいんですけど。
1:11:53	よろしいですかね。ちょっと。はい。はい。九州で。
1:11:58	九州電力の本村でございます。検討内容としては許可の時と変わってませんで、ちょっと規制強化のこの申請書の書きぶりとして不確かさと書いてますけどこれが、
1:12:12	要は、最後、10gal程度上げたところを指すのか、それとも、地盤モデルの話なのかっていうのがちょっと不明確でございましたので、今回、記載を見直してますけども、
1:12:24	そもそもそのルモリノサトウ他の牙はっていうのがまずあって、
1:12:30	その基盤は求めるにあたって調査とかで、地下構造モデルを設定してますけども、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:12:37	その減衰の話がこのときもありまして、もともと表層を1%で剥ぎ取ったものを、ちょっと保守性を見て、3%にしたと、保守性といいますか不確かさを考慮して3%にしたっていうのが、
1:12:51	まず、この今回の文案の前半部分の地盤モデルの不確かさというところを、減衰の話ですね。
1:13:01	それからさらに最後、
1:13:04	嵩上げてますので10ガル程度、それがさらに保守性を考慮した上でというところで、ちょっと二段階の記載をちょっと今回したというところでございますけども、
1:13:14	ちょっとわかりにくいところがありますので、ちょっとそういうところは、
1:13:20	ご説明していきたいと。
1:13:41	麻生ですはい。
1:13:53	はい。
1:13:59	はい。
1:14:00	はい。
1:14:07	はい。
1:14:12	はい。
1:14:13	はい。
1:14:23	はい。
1:14:29	はい。はい。
1:14:30	はい。そうです。はい。
1:14:31	はい、そうです。
1:14:38	はい。
1:14:50	明細ね、ちょっとイマダと
1:14:54	お前、
1:14:55	マイク。
1:14:58	どうしようかな思うんで、
1:14:59	多分ここに解放基盤表面と多分港町観測点外の稲津観測点の多分あの甲斐基盤課の友田Vsというか、
1:15:08	そこら辺の話がない、策定方法というかですね、その話がなくて、
1:15:17	その情報を入れれば、
1:15:19	いいのかな。だからそのまま使います。
1:15:25	港町観測点よりもうち解放基盤固いんで、それは、
1:15:31	そのまま使いますってその時に、この保守性5っていう話だと思しますので、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:15:38	それは何でダイレクト入社っていうのを知っている人たちはそうだなになるんですけど、そうじゃないと、何のこと言ってるかさっぱりっていうふうになるので、
1:15:48	結局、記載の充実が図られるんだったらまずそこも含めて記載を、文章としては考えていただいた上で、
1:15:55	ちょっとそのどの部分の話をさせているかっていうのは、
1:15:58	本来であればですよこういうようなものって、
1:16:01	適宜ですね、許可のまとめ資料の特定施設の部分を、
1:16:05	何ていうか最終審版にアップデートするときに、上に説明書きを少し変えて、
1:16:11	いわゆる、
1:16:13	そっちの方もですね、記載の充実化した上でそれをこっちにも反映するっていうのが、一番綺麗なやり方ではあるんですけど、
1:16:20	地震動のところのまとめ刊本みたいなものをですよ。
1:16:24	短期間ですぐ作って整理してっちゃうのが難しいのであれば、ちょっと許可の留萌のところの説明ですね、阿部先生は少し
1:16:34	引用するような形です。あれ何ページぐらいあるんですかね。10、10ページぐらいあるのかな。
1:16:39	ちょっとどんなことを指して今この文章書いてるかっていうそのお考えを理解しないと。
1:16:45	適正化しましたとって、どんなことを言ってるのかまたはわからなくなったと。
1:16:51	従来のものは多分アノアノ債 50Galのことしか書いてないと思うんですけど、
1:16:55	それに対応してるんだと思って従来の添 6 を見ていたわけで、
1:17:00	それが今回何に対応するのかわからなくなるとこちら困るんで、
1:17:04	そこは、
1:17:05	記載の充実化とはいえですね。
1:17:08	説明をしてください。
1:17:12	はい。九州電力の本村でございます。記載の充実の件ですね、ちょっと加えたいとは思ってます。ちょっとあと評価のまとめ資料の
1:17:22	該当部分ですね、そこら辺をちょっと、どこなのかというところをちょっとご説明したいと思います。以上です。
1:17:33	はい。お願いします。はい。
1:17:37	あとは標準を 26 ページの標準応答スペクトルとかこれは、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:17:44	流れとしては限界と同じで、
1:17:48	そうですねVs3.
1:17:52	はなしと。
1:17:58	この流れ自体は一緒なので、
1:18:02	ちょっと細かいて日本とかあるのかもしれませんが、
1:18:06	はい。
1:18:07	で、あと年超過確率のところは、加藤スペクトルとかJNES2005、
1:18:15	ソネサトウススペクトルとの比較で使ってた。
1:18:17	それは図から落とすというような話であり、頭痛、
1:18:22	一応ハザードスペクトル自体はだからこれはいじってないということではないんですね。
1:18:30	すいません表、何だ。
1:18:32	協業とスペクトルの検討代理熊本地震なりの話もあり、あり、あとはその地震本部 2020
1:18:39	にもあり、
1:18:40	そこは何かいじってないってことでいいですね。
1:18:43	はい。九州電力の本村です。一応ハザードについては、特にいじってないです。はい。修正はしてないでそのままです。
1:18:54	大井おりました。
1:18:58	とすると、
1:19:00	あとはちょっと図表の、
1:19:04	話でいくと、
1:19:08	起こったかな、ちょっと待って、一応、
1:19:13	すいません。あとはすいません長期評価ですかね。
1:19:19	これ、
1:19:20	御社は、
1:19:22	例えばこういう長期評価を、
1:19:25	適宜影響がないと許可の地震動評価津波評価に影響がないということは、ご説明いただいた上で、
1:19:32	とは言いつつその内容をかいつまんで申請書の添 6 についていうのは近いところと言うとその言い方なんかはあって、
1:19:42	は、テンロクの、
1:19:44	地震とか津波の、
1:19:47	一番最後、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:19:49	2、多分何々長期評価による影響という形で、多分そこ2地震規模の話だったり領域の話だったり、今回だとプレート内とプレート間を特に分けずに領域設定しましたという話だったり、被害地震が、
1:20:04	何かアップデートされたみたいなことを、
1:20:07	どこかにガサッと書いて、
1:20:09	これについてはどこどこに影響しないこれはこういう理由でここに影響しないって1ヶ所にまとめて書いてるんですけど。
1:20:17	これは申請書の書き方なので、
1:20:20	何とかそちらに裁量がある話だとは思ってるんですけど、一応御社としては、それぞれの該当箇所、
1:20:28	2、
1:20:28	価格と、
1:20:30	いうそういう整理を、多分これ、
1:20:34	仙台で、仙台でっていうかちょっと原価ね、ちょっとその議論別途議論がまだ必要な話ではあるんですけど、
1:20:42	仙台の方の状況からそういう書き方をされる。
1:20:46	うん。ちょっと今後増えていったときにどうなるのかっていうところはあるので、そういう方なんかは一番最後に、その次出して次出して、
1:20:54	書いていく、影響があって反映させるものは当然多分中に入れると思うんですけど、影響ないものは多分一番最後に書いておって、
1:21:01	個別のところになお書きが何かなお直って何か文献なり帳票が出るために、なお書きが何か次々と書かれていくと、それはそれで、
1:21:10	と思って書いてるのかもしれませんがね、そこは書きぶり何かこう明確な指定があるものではないので、
1:21:16	基本車としては該当箇所の方に、各後ろに書いてガイド箇所に引きながら影響がないとか、見直す必要がないみたいな説明するのではないと。
1:21:26	ちょっとそういう書きぶりですって今考えてるということですか。
1:21:29	はい。九州電力の小村でございます。我々もですねちょっと記載箇所をちょっと、正直悩んだところもあって先行の伊方サイトについては鈴木さんおっしゃるように、後ろの方に、
1:21:40	つけるというようなスタイルでしたけども、なかなかそうすると、ちょっとどこ前の方に戻っていかないといけないのでちょっとわかりにくいかなというところもちょっとありまして今回該当箇所、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:21:51	2、なお書きという形で入れさせてもらってるというのが、我々の考え方でございます。以上です。
1:22:01	はい。
1:22:02	みました。
1:22:07	そうする等、
1:22:10	まず被害地震の話はもともと被害地震で6ページに752被害地震って、
1:22:19	ありますよね。
1:22:21	で、
1:22:26	ここは特に触れていないのは、
1:22:30	ここはだから気象庁地震カタログとかはあって、
1:22:35	これ多分この間の会合でも、微妙に、
1:22:38	別に数が増えるわけじゃなくって、微妙にパネル規模とかが、
1:22:43	多分コンマ幾つぐらいで、多分徐々に徐々に多分今後も変わってくんだと思うんですけど、
1:22:49	体制に影響はないというかほぼエムデルダのけ影響にないので、多分ここはいじらないっていうこと。
1:22:55	と思うんですけど。
1:22:58	ちなみにここって、
1:22:59	何か被害地震って、
1:23:01	何か熊本地震とかを入れないっちゃうのは何か検討されたんですけど。
1:23:07	特に入れてない。これ多分、被害地震自体をいじってないからこれ、許可のときのままだと当然熊本地震も入ってないですよ、限界。
1:23:14	原価入ってないのか、入ってんのかな。
1:23:17	ここまでいじらない。
1:23:21	こういうなものも、別に適宜アップデートするならアップデートしていけばいいと思いますけどね。
1:23:28	その上で
1:23:31	地震調査委員会の知見9ページこれはあれか活断層なんですか。
1:23:36	なので、地震の分類時、内陸地殻内だと。
1:23:40	11ページから内陸地殻内地震で、
1:23:43	次が、
1:23:45	海洋プレート内とプレート間はあるか、1034ページですかね。
1:23:57	うん。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:24:20	これわあ、なお書きの趣旨は、
1:24:25	地震本部 2020 の被害地震を踏まえた形キョウケン
1:24:32	これすいませんその上の、
1:24:35	752Gにもともと書いてたやつですね。
1:24:39	1662 年日向、日向オオクマ地震があるかとかって、
1:24:46	これはすごいテンロク上程M△のあの検討図ってどっか出てくるんでしたっけ出てこないのか、まとめ資料だけ。
1:25:04	今のこの書かれたなお書きだけだと、
1:25:08	何か検討して、震度 5 弱以上と推定されなかったんだなあというのは、結果としてそこだけはわかるんですけど。
1:25:18	何かその被害地震として新しく考慮すべきものがあったけど、ここは川中の 50 が変わらないのかっていうところは、
1:25:27	全部、
1:25:28	わからんのですよ。
1:25:30	この、
1:25:31	3、4 行の記載だけだと、もともとM△って何かあったんでしたっけ。
1:25:46	ないのかな。
1:25:49	いや、N△の記載はありますね。ちょっと。
1:25:55	ここ、7 ページ。
1:25:58	7
1:26:01	7 分、
1:26:03	7 ページのところの、
1:26:05	後半部分ですね。
1:26:07	で、
1:26:10	はい。
1:26:17	図は 89 ページですね。
1:26:18	7 ページに、はい。あって、記載文書としてはあってですね。はい。それが 89 ページ。
1:26:29	89 ページ。
1:26:32	はいはい。確かこの図を、
1:26:35	実際には使って、ここで藤なんていうか一番影響が大きかった何とか、日向オオクマでしたっけ。
1:26:43	それが震度 5 弱。
1:26:46	いう話ではあったんですよはいはい、そうで。
1:26:51	そうすると一どこだ。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:26:53	流産重要のところは確かに当時もその今言ったM出るたの。
1:26:58	増直接は
1:27:00	す利用はしてないんだけど、一応それを多分使って、はい。震度
1:27:06	5以上とは推定されずっていう、この文章の根拠は、多分そのエムデルダ図なんですよね。
1:27:14	わかりました。
1:27:16	その上でなんですけどもちろん買い物とかでまとめ資料だと。
1:27:21	何か被害地震、地震本部 2022 年の被害地震を踏まえたといったときに、いやこれも結局、
1:27:28	被害地震として何か足されるものがあったり規模が大きく変わったりするものが、
1:27:34	あった上での頃、なお、震度 5 弱以上っていう話なのか、そもそもいやそれ変わらんのですよと。
1:27:42	あったら新たに被害地震、
1:27:44	ですね、加える敷地周辺で新たな被害地震として加わるものが、
1:27:51	ない。
1:27:53	作って、いや規模もね、変わらない。
1:27:59	ねだから 5 弱以上と推定されないでっていうところなのか、ここの中に何か根拠といいなりそうな記載がないので、
1:28:08	これだけ書かれる等、何か新しい情報があって、何らかの影響検討、
1:28:15	は、ああし、
1:28:17	して、
1:28:21	ていうところがね全くちょっと、6 条見えないので、本来だったらこそ出しをするんだったらね、
1:28:28	そういうところの記載ももうちょっと充実して、
1:28:40	多分ご趣旨としてワダ、結局その最大規模のものオノ 1662 年日向オオクマとか、この記載だとですよ。
1:28:47	それと、それを超えるようなものは当然、新しいものがそもそもなくて、
1:28:52	規模もこれ変わらないんですと、だから 5 弱以上と推定されないってところ変わらないんで、
1:28:58	だから最後、敷地に大きな影響地震ないことを確認しましたっていうことだと思っんでちょっとここもう少し説明を充実していただきたいかなというのは、プレート内も同じですかね。はい。九州電力の本村でございます。今の議論ですけども、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:29:12	ちょっと記載が足りないところありますので、検討して追加したいと思います。以上です。
1:29:23	大井。
1:29:23	お願いします。はい。
1:29:26	1056 は先ほど少しちょっと御説明入ってなかった部分があったんでその話と、
1:29:34	地下構造モデルの 16 なんですけど、
1:29:41	これワー地下構造モデルそのものですね。
1:29:44	これは制定根拠というか
1:29:47	もともと、
1:29:50	尾藤
1:29:52	そこは試掘坑微動アレイ数、宮越地震調査委員会 2007、
1:29:58	どの部分にどこがどれを適用し、根拠にしているかがあまりはっきり書いてなかったものを、ここはこの深さという過去の値はこれ、この深さはこれっていうことで書き下したと。
1:30:09	ですかね。
1:30:12	図としては、これ地下構造モデルの図はサインを何ページになるんですたっけ。
1:30:35	はい。あ、わかりました。これ、52 ページは、この玄海の時にも言ったのかな。ちょっと層厚だけしか書いてなくて、多分まとめ資料とかこれまでのご説明だったの一応、
1:30:46	EL—どこからどこまでがっていう話で変わっていたので、それを左端に書き出していただいたちゅうことですかね限界も似たような感じで、
1:30:56	わかりやすく適正化されてるちゅうことでいいですか。はい。おっしゃる通りでございましていえる表示が文章にあって、もともと表になかったので素行、
1:31:05	をちょっと追加したと。玄海も同じように、修正を加えてるところでございませう。
1:31:11	はい。確認しました。はい、わかりました。
1:31:18	は、
1:31:21	訂正、はい。
1:31:27	あとは、地震本部の、
1:31:31	すみません規模麻生Ss—Nのところに出てくるのかな。
1:31:36	ごめんなさい。ちょっと時間が。
1:31:38	SsLの話は何ページかというのと、一番最後さ、30、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:31:47	3233 のところですかね。はい。
1:31:50	ここで、
1:31:52	33 名を、
1:32:08	これもちよつと何て言うんですかね。
1:32:12	定量的に書けませんかね。
1:32:19	地震本部 2022 ではこの与儀でこの地震規模のものをやれと。
1:32:25	アベに図を付けてくれというわけじゃないんですよ。
1:32:29	それに対して、自分たちはこの規模のものを設定してるんで、大きいとか、
1:32:34	あれもこれ日向灘の方とかだとあれかな、多分、
1:32:39	日向灘に相当する部分の多分差分と、あとは多分全体で 9、9.19 か自身は 9 かな。
1:32:47	かな、この話とかちよつともうちよつと定量的に書いてもらえませんかね。これ見ると、結局地震調査委員会 2022 を見ながら、
1:32:55	御社のこの多分テンロクの中の後ろについている図を見ながら、確かに、
1:33:00	上回ってるって、
1:33:02	ここの資料の中だとわからんのですよ。
1:33:05	うん。ちよつとそこはね。
1:33:07	それが以下とかだと、別出しで書いてるから、結構長く書けるんですよ。
1:33:12	だから定量的な記載も、
1:33:15	かけてるんですけどね。
1:33:17	はい。
1:33:18	で、あとはここをすいません、ちよつと領域の話も、
1:33:22	ここはあくまで地震調査委員会の方で、プレート間とプレート内を切り、
1:33:28	わっ形
1:33:30	ずに、
1:33:31	領域、多分甲斐コガとか陸あって、そ外側ものプレート内の領域もやって広げてますよね。
1:33:38	それをとも見なくていいのは、結局多分前のところで説明があったように、
1:33:45	このナカマSs-Nの検討なんで、ここはだからプレート間の方で、影響が大きいプレート間でここを見ているので、
1:33:52	それは影響しないっていう話は多分先週したと思うんでちよつとそこも含めて、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:33:57	ちょっと領域範囲の話とか或いはそのときにプレート間とプレートで分けずに、
1:34:02	考えているっていう、そこも含めての話なんですけど。
1:34:07	そこも含めてここはもう少し記載を書かれるのであれば充実化してください
1:34:12	はい。
1:34:15	出てくるのはここだけかな自身はね。そうですね。
1:34:31	そういう点はあって、実は伊方方式は、
1:34:35	まあまああっちがベストとかあっちの方が絶対いいということではないんですけど、
1:34:40	遺書 1ヶ所にまとめて趣旨を、
1:34:44	状況下で何が変わってそれに対して何が
1:34:48	影響しないのかっていうところをまとめて書いてしまうというのが、いわゆる審査会合とかで説明した内容をそっくりそのまま、
1:34:56	同じ 1ヶ所にどかっつを移してしまえば良いっていうやり方が、多分、四国電力がそういうやり方をね、
1:35:03	ですけど、
1:35:04	分解して変えていくと、
1:35:07	どうしてもこう数量で書くと舌つ足らず、この説明だけだとよくわからんっていう
1:35:14	すみません、ちょっとここはもう少し丁寧に書いてください。
1:35:19	そんなところですかね。
1:35:22	すみません一通り、
1:35:23	ちょっと全体として、玄海と共通するような
1:35:28	基準改正ガイド改正を踏まえた階層構造というか、適正化みたいなのはわかったんですけど、
1:35:36	いわゆる補正係数の話だったり、あとは到来方向の話であったり、あとはすみません留萌のところの記載を、
1:35:46	不確かさのコールと保守性を分解して書きますというところだったり、
1:35:51	ちょっと別途資料を作って説明をいただいて、
1:35:56	その上で、どうするのかっていうところ、
1:35:59	考えて、
1:36:00	たいと思います。
1:36:03	か全体を通して、
1:36:06	何かありますでしょうか。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:36:13	よろしいですか。
1:36:15	はい。そうすると、時間も時間になってきましたが、ちょっと冒頭で
1:36:21	国井をさせていただいて
1:36:27	そうするとですね今自身のところは、玄海川内共通するようなところ、これは多分以前玄海で申し上げたようなところはほぼ、
1:36:36	会社として反映してきたかなあと。
1:36:39	んですけど、
1:36:41	そうすると津波は地震本部 2022 名のただ、
1:36:48	そうするともう多分今みたいに、2022 の記載って今地震動と同じぐらいの粒度で書いてあると。
1:36:55	多分同じことを、
1:36:57	もしかしたら資料を見て申し上げる確認、ヒアリングの時にですね、申し上げることになる。
1:37:01	と思われるので、
1:37:03	その検討は、
1:37:05	進めておいてくださいと。なんで、多分津波の補正案というか、或いはその前回の会合を踏まえての、
1:37:15	状況下部分の資料ですねアップデートっていうところは多分それ単独で、
1:37:19	ガバッと時間とってもう、
1:37:22	余るというかそんなに見えないので、
1:37:25	地盤の時とセットというイメージでの方がよろしいですか。
1:37:31	そうすると地盤が、種今週中或いは来週の頭ぐらいに、地盤、地盤斜面の方ですかね敷地の地盤っていう話と地盤斜面の話が、
1:37:42	出てくるということなんで、
1:37:45	仙台に関して言うと、そちらの方のヒアリングでの確認。
1:37:51	あとワダこつと先ほど言ったようなちょっと地震の方も、ちょっと説明をそもそもという部分が、
1:37:57	あるので、
1:37:58	こちら辺を踏まえるということですかね。で、
1:38:01	すみません
1:38:03	限界は多分また別途の機会の中身の方が出てきた資料を確認させてヒアリングなんですけど、
1:38:10	玄海はそういう意味で言うと、
1:38:13	ちょっと、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:38:14	できればちょっと時間もあれなんですけど、聞かせていただくと。
1:38:18	玄海で言うところの地盤。
1:38:21	これは閉判例が話はもちろんないので、
1:38:25	地形変更という話もないので、
1:38:30	岩盤分類図の方はどうですかね限界の方は、同じような、ちょっと多分それぞれごとに書きっぷりというか凡例のつけ方が違うんで。
1:38:40	そこは、
1:38:42	確認はされていて何か同じような
1:38:46	適正化があるかどうかっていうのは、何か分析されてます。
1:38:49	はい。九州電力の今林です。玄海につきましても、松戸川内と全く同じじゃないんですけども、やはりその川内を修正するにあたってやはり玄海にも、
1:38:59	同じようなちょっと修正をした方がいいだろうという箇所がございますので、
1:39:04	玄海の岩盤分類図の凡例も修正をし、
1:39:08	させていただこうと思っております。
1:39:12	以上です。
1:39:15	わかりました。
1:39:16	はい。
1:39:18	玄海の地震でこちらは、
1:39:24	当然ながら1回委員会確認ですかね表示応答スペクトル部分は確認を して、
1:39:31	これわあ、
1:39:32	県下の地震もこれも今日出てくる。
1:39:36	いうところですかね。はい。
1:39:40	すると、玄海の地震の確認が入ります。
1:39:45	地震本部 2000 理事はさておき、玄海の地盤斜面も、
1:39:53	今日だったっけ
1:39:55	はい。九州電力今林です。玄海の地盤斜面につきましても今週、末ないしは来週前半を目途に作業を進めております。基礎地盤に関しましては川内と玄海、
1:40:07	同じようなスケジュール感で今進めておりますので、
1:40:10	今申した通りの、今週末か来週の前半ぐらいにご提出できるようにしたい、準備を進めているところです。
1:40:22	はい。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:40:24	限界は津波はだから修正がない。
1:40:27	ですね。はい。
1:40:32	そうすると、
1:40:34	とはいえですよ。
1:40:37	一応本社のスケジュールだと何か 10 月の末末日というか、何かこのあたり、
1:40:43	補正その補正を、確か補正なんかあんまり分割ではなくて、
1:40:49	施設等、新、いわゆるハザードも含めて、
1:40:54	何かまとめてというような話でしたかね。
1:41:02	そうすると来週出てきて、23 とか 20 億が出てきて、
1:41:08	ヒアリングををするとしても、
1:41:13	オカに入れるか。
1:41:17	あんまりそのクロズミ通りの不正になるかわからないですけど、とりあえず資料としていつ出てくるのかというのはわかりました。
1:41:25	特に何かその川内とか玄海とか内田の方を先にフィックスとか、
1:41:29	何、何かあります。なければなければというか、申し込むときに、全部束で、山のように送りましたので、明後日お願いしますと言われても我々全く読み切れない状態で、
1:41:42	形だけヒアリングてもしょうがないので、
1:41:45	ちょっとそこら辺も含めてどちらが先に固めに行くのか。
1:41:50	あとは例えば玄海なんかだとちょっとね地下構造モデル変えた部分だけそれちょっと書きっぷりどうするかとか優先して固めるべきところは固めるのかとか、
1:41:59	ちょっと考えてですね、ヒアリング、多分 1 回じゃ絶対はまらないので、少し計画的なヒアリングの申し込みをしてください。ちょっとそれがね
1:42:09	すみませんちょっとは伝わってこないというか、わからなかったなので、全体像が
1:42:15	なんかあまり優先順位が低いようなものを先に入れてしまってそれによって本来多分御社としてもね、
1:42:21	審査で説明した内容を反映した
1:42:24	と、つもり反映するつもりでいるものが、
1:42:27	細かいずれがあると、何か再補正とかね、そういう手続きばかりが増えていくので、
1:42:32	ちょっと固めたいものとかも考えられない。
1:42:34	とか、少し御社の方でもここは、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:42:37	というふうに思ってるものがあるんだったら早めに確認するとかっていうのでやっていきたいと思いますのでよろしくお願いします。
1:42:46	はい。
1:42:47	ければ以上で、
1:42:51	ヒアリングの方は終了したいとますよろしいですかね。
1:42:55	はい。
1:42:58	よろしいですか、では終了しますお疲れ様でした。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。